

土岐の写真を撮り隊

Vol.5 リニューアルした図書館

春にリニューアルオープンした図書館に行ってきました。子どもから大人まで多くの人を楽しめる図書館です。リニューアルした図書館のおすすめポイントをご紹介します！

1階フロア
子どもスペース



小さい子が本を取りやすいように背の低い本棚があります。本棚の間のいたるところに椅子があり、小さい子がたくさん本を読めるようになっています。



図書館の一角にある靴を脱いでゆったり本が読めるスペースです。大きな本もあり、親子などで読み聞かせもできます。来ていた親子が読み聞かせをしている姿にほっこりしました。



図書館で働いていらっしゃる司書さんです。毎日本の整理をしているそうです。私たちが使いやすいように整理されていて感動しました！

2階フロア



1階のフロアとは違った雰囲気、静かで落ち着いた空間でした。また、本を読むだけでなく、学生さんが調べものをしている姿も見られました。

まだ少し暑さが残っていましたが、広報が皆さんの手元に届く頃は読書をするのに良い気候になっていると思います。ベンチに腰掛けて秋の空気を感じながら読書をするのも良いですね。外で読書をする場合は司書さんに声をかけると良いそうです。



図書館の隣には公園もあって、図書館に行った帰りに親子で遊ぶ姿もありました。

Photo Sketch

9/3

夏休みの力作が勢ぞろい 夏の作品展

小中学生の夏休みの学習の成果を展示する「児童生徒科学作品展」「発明くふう展」「社会科課題追究学習作品展」がセラトピア土岐で開催されました。会場には205点の作品が展示され、子どもたちの力作を見ようと多くの人が訪れました。作品を見ていた保護者は「子どもたちの疑問に耳を傾けることが大切だと感じていました」。



9/10

本好き・科学好きが大集合 ブック＆サイエンスフェス2023

読書と科学に親しむ「ブック＆サイエンスフェス」が開催されました。訪れた親子連れが、ミニロボットの操作体験や電子レンジを使ったプラズマに関する実験などを通して科学の面白さを味わったほか、直木賞作家の今村翔吾さんによる特別講演会や小中学生がお薦めの本を紹介する「ビブリオトーク」では、来場者らが読書の魅力に引き込まれていました。



9/12

使うものを作るといこと 下石小学校で作陶教室

下石小学校の6年生が伝統工芸士の加藤芳平さんらの指導のもと、湯のみやマグカップなど日常で使う陶器を作りました。加藤さんから「日常で使うものを作るといことは使う相手のことを思うこと。一つ一つの工程の意味を考えて作ってほしい」と伝えられると、子どもたちは器の大きさや持ち手の部分の太さなどを工夫しながら、作品を作り上げました。



9/16

自然を満喫 第42回陶史の森まつり

自然いっぱいの陶史の森を楽しむイベント「陶史の森まつり」が開催され、多くの家族連れでにぎわいました。会場では、丸太切り体験や羊毛マスコットづくりなどさまざまな体験ができ、子どもたちの笑顔があふれていました。市女性連絡協議会による地元野菜のみそ汁や五平餅などの販売もあり、自然の中でおいしそうにほおばる姿も見られました。



市ホームページ「ときめきの瞬間」(HP 1006765)でもイベントの様子を紹介しています。